

東京大学付属第四高等学校・中等部PTA通信

発行日:平成20年3月1日

創刊号 ラベンダー通信

編集・発行 PTA通信広報委員会 Vol.1



※ラベンダーの写真は北海道東海大学のキャンパスに咲いたものです。

2007年度より

PTA専門委員会がスタート

PTA専門委員会活動内容



「ラベンダー通信」 発行にあたり

東海大学付属第四高等学校・中等部
PTA会長 水本 絹子

わずかに春の萌しを感じる頃となりました。卒業式を目前にひかえ、学校全体が何かと気忙しく、先生方や子供たちの中にも日々緊張感の高まる季節でございます。さて、この度PTA広報委員会編集による「ラベンダー通信」を発行させていただくこととなりました。

名称の「ラベンダー通信」は、本校所在地の札幌市南区南の沢が日本におけるラベンダー栽培発祥の地であることに由来しています。

発行にあたりましては、昨年より活動しておりますPTA専門委員会(文化・厚生・広報委員会)の活動報告や学校内でのトピックス、また各分野で活躍する卒業生へのインタビューなど身近な話題を取材し、親しみのある記事の掲載を目的といたしました。

従来の「PTA通信」にあわせて年1回の発行でございますが、保護者の皆様方に楽しんで読んでいただけるよう、委員会一同励んでまいります。

この通信がご家庭と学校の小さなパイプラインになるよう願っております。

文化委員会

… 広報担当 加藤 晶子

文化委員会は、垣内教頭、古屋委員長を中心に保護者20名により発足しました。話し合いの中でいくつかの企画が出ましたが、初年度なので無理のない企画をとということになり、健康推進室との共同企画で「気になる子どもの理解と対応」をテーマに11月29日に保護者対象の講演会を開催しました。本校だけではなく他校からもご参加をいただきました。



厚生委員会

… 広報担当 出口みゆき

厚生委員会は本郷先生を中心に13名で会をスタート致しました。

専門委員会発足初年度ということで皆で意見を出し合い、子どもたちの食育をテーマに活動することに決めました。

具体的には昨年11月に委員会のメンバーで食堂体験を実施し、料理長の郡山さんと栄養士の加藤さんをお迎え、懇談の場を設けました。

保護者の方々が学校に集い、お互いに情報を交換し交流を深める事は、家庭教育にもプラスになると考えています。



専門委員会活動が学校への協力と共に自己啓発の場としてさらに充実し発展するために、厚生委員会一同はりきっております。

広報委員会

… 広報担当 鈴木富美枝

私たち広報委員会は「ラベンダー通信 創刊号」発行に向け14名で始動いたしました。

広報誌の「顔」である表紙から各ページ全てにテーマを掲げ取材、編集、構成と各担当が思いを寄せ合い、多くの読み手の方々に楽しんでいただけるようにという思いで活動を始めました。

PTA広報誌は専門的な表現よりも、東海大学付属第四高等学校・中等部にかかわる保護者の視点から表現され、学校にかかわる方々が目を通すことを念頭においています。

この「ラベンダー通信」が、日々努力を重ねている生徒の皆さんへの励ましの一冊として意味のあるものになることを願っております。



四高・四中を支える

食堂スタッフ突撃レポート

皆さんが普段一番長い時間を過ごす学校。

仲の良い友達や先生と過ごす快適な時間は、多くのスタッフに支えられていることをご存知ですか？今回はそういった「なかなか知ることでできない四高」の一面にスポットをあてレポートします。

食堂の早稲田さん



今回インタビューに協力してくださったのは、食堂の早稲田さん。なんと食堂のスタートの時から、ずっと23年間 四高生を見守り続けているそうです。そんな早稲田さんに、食堂から見える四高生と、望星塾の塾生についてお話を伺いました。

Q 今食堂にいらっしゃるスタッフの皆さんは何人ぐらいですか？皆さん早稲田さんのように長く東海で食事を作ってくださっているのでしょうか？

――スタッフは11人で、皆さん10年とか……長く働く人が多いです。シフト勤務というわけではなく、担当が決まっているので朝の担当の人は毎朝必ず食堂にいますよ。

Q メニューはどのようにして決められているのでしょうか？

――専門の栄養士がいるので、そこで決められます。定番のメニューで15~16種類あるんですよ。

Q そんなに種類があるって、大変ですよ！準備が大変そうですね。材料が残る……ということはないのでしょうか？

――材料は無駄が出ないように心がけています。だいたいわかるんですよ、経験と勘でしょう。『今日はいつよりも〇〇食分、少なくしよう』という感じで用意をしておく、ほとんど外れませんよ。

Q すごい！やっぱりプロですね！ところで、今日はスタッフの方が早稲田さんを含めて4人ですが……（お昼でした）

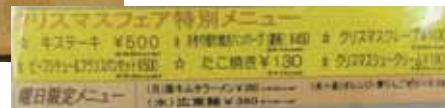
――はい、食堂は満席で300席あるんですが、お昼だけで350食は作ります。お昼休みは短いですが、その時間の中でサービスするので忙しいですよ。塾生は今は3年生が引退したので減りましたが、それでも100人分の朝ご飯と晩ご飯を準備しますし、冬場は合宿も多いので、そうすると相手チームの皆さんの食事も用意したりするんですよ。

Q 仕事をしながら、何か印象に残った出来事などを教えていただけますか？

――やっぱり毎日顔をあわせていますから、塾生のことになりましたけど……新入生も一ヶ月ぐらいで、名前を全員覚えます。毎日挨拶をしていると、顔を見ただけで体調が悪いとか「何かいいことがあったのかな？」「何か嫌なことでもあったのかな？」というのがわかるようになります。風邪を引いて体調を崩していると聞けば、おかゆを用意したり、場合によっては油を使わないようにしたり。そうやってなるべく細かな対応ができるようにしているんですよ。本当に自分たちの家族のような塾生が、3年生になってその先の進路などを報告してくれる時など、嬉しいと思うのですがその反面、さびしくもあります。でも、本当に輝いた表情を見ると、皆さんのこの先に広がる未来を応援したい気持ちになります。



←定番メニュー
↓そしてインタビュー時はクリスマス前だったので特別メニューが！



食堂人気No.1! 「チキンピリ辛」レシピ

歴代の食堂のメニューの中でも、一番人気の「チキンピリ辛」！そのレシピを公開！是非、ご家庭でも作ってみて食堂の味を楽しんでください♪

材料 (10人分)		ピリ辛ソース	
☆鶏もも肉	200g	醤油	110cc
☆片栗粉	適量	酢	75cc
☆千切り大根	80g	砂糖	90g
☆白ゴマ		おろしにんにく	3g
☆かいわれ菜		おろししょうが	3g
		豆板醤	9g
		水	630cc

作り方

- 1) 鶏もも肉を、醤油・砂糖・みりんに30分つけておく
- 2) 鶏もも肉に片栗粉をつけて揚げる（4カットにする）
- 3) お皿に大根の千切りをひいて、お肉を並べる。上からピリ辛ソースを温めて、熱々のソースをかける。お肉の上に白ゴマ・かいわれ菜をちらし完成です。

さあ、このレシピで人気メニューと同じ味が再現できるか!? Let'sチャレンジ!! 767kcal (ご飯抜き)

本当に食堂の皆さんは、四高生、特に塾生にとってはお母さんのような存在ですね。忙しい仕事の合間をぬって、生徒一人一人を温かい目で見守っているんだな、というのが良くわかりました。早稲田さん、食堂の皆さんお忙しい中、ご協力ありがとうございました！



この日のスタッフの皆さん忙しそうでした！



←おまけ
インタビュー当日食べたお昼♪とても美味しくいただきました。ごちそうさまでした～

卒業生インタビュー

各界で活躍している卒業生を紹介

(有)ボワソン・ダブリー

の がみ やすひで
野上 寧英

昭和41年生まれ
19期生



プロフィール

滝川市の和洋菓子店の跡取り息子だった野上さん。でも中学時代から好きだった吹奏楽をやりたくて、両親を説得して東海大四高校に来ました。卒業後は両親との約束を守り、所沢の菓子店などで修行。一旦は実家に戻りましたが、修行中に知り合った奥さんと一緒に、長年の夢だった洋菓子店を東海大四の近くで持つことができました。

店を持つ時、最初は居酒屋をイメージしたんです。カウンターがあって、お客さんの顔見ながらケーキ作っているイメージにしたかったのです。今でもお客さんとの会話は大事にしています。

Q 東海大四ではどんな生徒だったのでしょうか

吹奏楽部でトランペットをやりたくて入学しました。川治の下宿も吹奏楽部ばかり6人で楽しかったです。部活はホント厳しかった。もうやめてやる〜って言ったこともありま

した。もちろんやめませんけど。

Q 高校時代の一番の思い出は？

吹奏楽部でヨーロッパに演奏旅行に行ったことです。東海大学がミュンヘンに武道館を造ったので、そのオープニングに呼ばれました。ハンブルグやコペンハーゲンも回ってきました。3年間がんばって良かったなあと思います。

Q これからの展望を聞かせてください

今までどおり新鮮な良い素材にこだわって、お客さんの顔が見える店を夫婦二人で続けたいです。

Q 後輩の中高生に一言

思えばかなうし、かなったら継続することが一番大事です。



(株)東芝 勤務

いいだ よしひろ
飯田 佳洋

昭和56年生まれ
33期生



プロフィール

人と違う事に惹かれる性格という飯田さんは、両親の勧めもあって、東海大四の中等部を受験。高等学校を経て東海大学工学部に進学しました。大学ではコンピューターの心臓部(CPU)の設計を専攻し、3年生のときにNTT主催のASICデザインコンテストで優勝。その実績を買われて東芝に入社し、プレイステーションⅢのCPUを手がけました。

Q 東海大四ではどんな生徒だったのでしょうか

静かなタイプだったと思いますが、実はポイントを押えたところで目立ちたがり屋でした。昔からいろいろなものに興味があって、人と違うこと、新しいものに惹かれました。当時はまだ目新しかったネットゲームにはまったりして。ネットワークって目に見えませんよね。そこに何か新しいものを感じました。

Q 科学技術の先端であるCPUに従事することは、難しいことでしょうか？

進学と言う点では、中学しか受験経験は無いですが、でも東海大学工学部はレベルも高かったの、高校時代は勉

強しました。大学2年生の時、これは凄いと思える教授に出会ってコンピューターの心臓部が自分で作れるんだということにとっても感動して、専攻は通信工学科へ進みました。数学や物理が好きで、たった一つのスッキリした答えを見つけないです。だから使い方などで不便を感じると、不便を解消したくなります。すっきりするまでしつこく答えを出そうとします。それが新しいものを作るきっかけや、コンテスト優勝などにつながったと思います。

Q 後輩の中高生に一言

中高生で一つのことに没頭できる人が羨ましくもありませんが、自分は自由にのびのびと視野を広げられたのが良かったと思います。視野は広く持ったほうが良いです。

・編集後記・ 広報委員長 長門 奈保美

今年度よりPTA各専門委員会が発足し、PTAが主体となって作る初めての広報誌を発行することができました。

一般的には富良野が有名なラベンダーですが、日本で初めて、香料の原料としてここ南の沢で昭和15年から栽培が行われたことに「ラベンダー通信」のタイトルは由来します。「ラベンダー同様、皆さんに親しまれる広報誌になって欲しい」という願いを込めて命名致しました。

創刊号発行にあたりお忙しい中、ご協力いただいた皆様方に心より感謝申し上げます。

編集スタッフ/広報委員一同・松木先生
印刷/株式会社 エーシーピー